

いづくり

市では、「人と自然と土が織りなす 交流文化都市」をまちの将来像に掲げた第6次土岐市総合計画に沿った施策に取り組んでいます。この施策にメリハリをつけて推進するため、「愛着のもてる まちづくり」、「地域を支える ひとつづくり」、「地域住民のいきがいづくり」の、3本を柱として、予算を編成しました。

土岐明智氏ゆかりの地 妻木城跡からの眺望

みんなが生き生き暮らせるまちづくり

土岐市の高齢化率は3割を超え、ほぼ3人に1人が65歳以上という状況です。介護や医療費などの社会保障費は、今後も増加していくことが予想されていますが、高齢者が元気で、支えられる側ではなく、支える側になれば、その負担軽減も期待できます。高齢になっても、いきがいを持って社会活動に参加できる生涯現役社会の実現に向けた取り組みを進めます。

▶ オリジナル体操制作

健康オリジナル体操を制作し、普及活動を実施

▶ はつらつ元気塾

運動機能向上、栄養講座、口腔機能向上をセットに実施

▶ 介護予防サポーター養成

介護予防に関する知識を習得し、介護予防活動を担う人材発掘と育成

▶ 認知症予防学習事業

認知症予防のための脳の健康教室や音楽講座などを実施

▶ 生涯スポーツ推進事業

インターバル速歩講習や森林ウォーキングの開催など



まちづくり ひとづくり いきが

令和2年度予算概要

重点的な取り組み

今年度は、読書に親しむことにより教育の向上を図るとともに、運動、食生活の改善、フレイル予防などの事業を展開し、みんなが生き生きくらすまちづくりを目指します。

読書に親しむまちづくり

「読書離れ」が進む昨今ですが、土岐市においては右下表「一日に読書を全くしない率」のとおり、全国、岐阜県を大きく上回っています。読書活動は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、自分なりに考えて理解する経験を積むには欠くことができないものです。ネットで大量の情報が飛び交う時代だからこそ、発達段階に応じて読書習慣を身につけられるような取り組みを進めます。

▶ 読書イベントの開催

▶ 子ども読書推進計画の作成

子どもの読書推進のため、関係者が取り組む基本方針を作成

▶ (仮称)土岐市生涯読書推進計画検討委員会の設置

子ども読書活動推進計画と兼ねた計画を策定するための検討委員会を設置

▶ 学校図書室司書の増員

学校図書室に司書を配置し、子どもたちが利用しやすい環境づくりや学習支援を実施

▶ ブックスタート事業

4カ月児健診・3歳児健診時に読書の機会を提供

一日に読書を全くしない率

	小学6年生	中学3年生
全国	18.7%	34.8%
岐阜県	17.1%	34.5%
土岐市	21.6%	43.2%

出典 平成30年度 学力状況調査



愛着もてる まちづくり

●協働まちづくりの推進

まちづくり活動を市民と行政が協働で実施し、それを継続させることを目指します。

▶まちづくり活動支援事業

勉強会やワークショップ、イベントを通じ、市民協働のまちづくりに取り組む体制づくり



●地域経済基盤の安定

活力ある産業と関係人口の創出・拡大により地域の活性化を目指します。

▶美濃焼振興事業

▶ふるさと応援事業

交流人口に加え、ふるさと納税の活用など、市内外で新たな関係を構築し、関係人口の創出、拡大を目指します。



●災害に強いまちづくり

激しさを増す台風や集中豪雨など、高まる災害リスクに備え、災害に強い社会基盤の整備や地域での防災力向上を目指します。

●健全で効率的な行政運営の推進

社会保障費の増大や生産年齢人口の減少、消費市場の縮小など社会的課題が予測される中、市民ニーズに的確に応えながら、将来にわたって質の高い行政サービスを提供し、健全で安定した財政基盤の確立を目指します。

地域を支える ひとづくり

●教育力の向上

土岐市教育大綱に掲げる基本理念、「人との絆の中で ふるさとへの愛着と誇りを持ち 夢を実現できる人を育てる土岐の教育」を基に、児童生徒の教育環境向上に努め、学習意識を高める機会を設け、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力のある人材の育成を目指します。

▶科学イベント開催事業

土岐フォーラムを会場に、核融合科学研究所や東濃地科学センターの協力のもと科学イベントを実施



●子育て支援の充実

保護者が安心して子どもを預けられることができるような保育施設や子育て支援策の充実を目指します。

▶(仮称)泉こども園建設事業

●市民と協働してまちづくりに取り組む人材育成

「まちづくり活動を市民と行政が協働で実施し、それを継続させること」を目指し、市民の目線で考え、市民に寄り添い、市民と協働してまちづくりに取り組む職員の育成を目指します。

地域住民の いきがづくり

●市民の健康いきがづくり

地域の活力の維持、向上のため、高齢者をはじめとする意欲のある方々が社会で活躍できる環境整備を目指します。

▶高齢者学習活動促進事業

高齢者の学習と仲間づくりの場として「はなの木大学」を開設

●地域医療の確保

誰もが必要な時に安心して質の高い医療サービスを受けられるよう、地域医療体制や救急医療体制の充実を目指します。

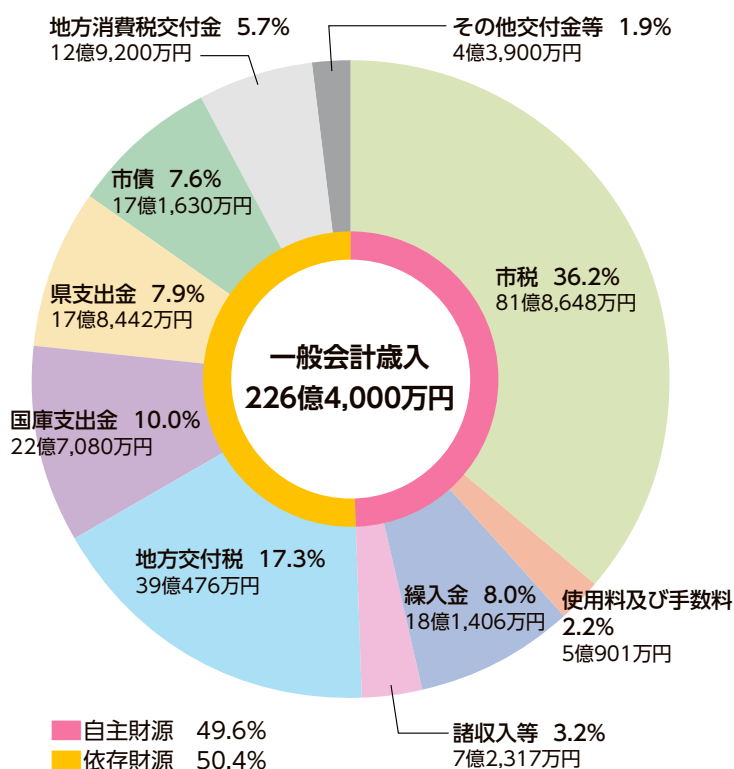


前年度予算額との比較

新年度予算は、市政運営の中心となる一般会計226億4,000万円、国民健康保険、介護保険などの特別会計128億6,291万円、病院事業などの企業会計79億7,855万円、総額434億8,146万円となりました。前年度の当初予算に比べて、一般会計3.0%、特別会計1.3%、企業会計35.8%、総額で10.9%の減少となりました。

会計名	本年度当初 予算額	前年度当初 予算額	比較		
			増減額	増減率	
一般会計	226億4,000万円	233億4,000万円	△7億円	△3.0%	
特別会計	国民健康保険	57億5,595万円	60億5,716万円	△3億121万円	△5.0%
	駐車場事業	6,456万円	1億3,715万円	△7,259万円	△52.9%
	介護保険（保険事業勘定）	61億1,218万円	59億9,213万円	1億2,005万円	2.0%
	介護保険（サービス事業勘定）	1,804万円	1,842万円	△38万円	△2.1%
	土岐市・瑞浪市介護認定審査会	4,180万円	4,155万円	25万円	0.6%
	土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会	592万円	577万円	15万円	2.6%
	後期高齢者医療	8億6,446万円	7億7,436万円	9,010万円	11.6%
	計	128億6,291万円	130億2,654万円	△1億6,363万円	△1.3%
企業会計	病院事業	22億5,994万円	65億9,507万円	△43億3,513万円	△65.7%
	水道事業	27億8,935万円	27億1,721万円	7,214万円	2.7%
	下水道事業	29億2,926万円	31億2,374万円	△1億9,448万円	△6.2%
	計	79億7,855万円	124億3,602万円	△44億5,747万円	△35.8%
合計	434億8,146万円	488億256万円	△53億2,110万円	△10.9%	

歳入



歳出

